

## 2018年こだま俳壇（7月）

大花火夜勤の窓を轟かす	三井 光子
草の中鉄路は消えて雲の峰	柳瀬 節子
原爆忌つる折りつづけし母は亡く	島田多嘉子
盆踊り前に倣ひて輪に入る	瀧澤 正行
大花火商店街の心意気	友井眞言
沖縄忌共に生きんと清かな詩	小川 水草
濁流禍天の川だけ美しく	角田 英昭
手花火の心微かに揺れてゐる	鳥海 敏雄
蟻の列その先にあるシャングリラ	白井保次郎
暑き日やラジオうるさき理髪店	坂 守
遠花火ベンチの二人野球帽	木村 武子
曇っても暑さ変わらず森閑と	井村 友彦
原爆忌絵に画いてみるきのこ雲	中村桂子
夜嵐の七夕飾りの町抜ける	田中 一男
闘病の雲の流れを励ましに	後藤 貞夫
淡々と語る被爆者夏の昼	松尾佐知子
萱草やこがねに染まる佐渡の海	本山 文子

立山の出湯につかり天の川

常世田芳子

三千万署名の一人原爆忌

講師 太田 土男